

## 加入状況

- ◆ 竹鼻中部活動加入数（文化部  
含） 471名
- ◆ 運動部活動加入数  
299名
- ◆ はしまなごみSC加入数  
255名
- ◆ クラブ加入率  
85%

## アンケート調査結果について

- ◆ はしまなごみSCによる  
休日の活動の満足度指数
  - ・生徒 83%
  - ・保護者 62%
  - ・クラブ指導者 71%
  - ・運動部顧問 100%
  - ※全項目平均 79%

## 成果と課題

- 専門的な指導者による指導により充実した活動ができ、生徒たちの技能向上につながっている。
- 休日に教員が部活動に携わることがない環境になったため、教員の超過勤務の大きな減少（平均月13.3時間の時間外勤務の削減）につながっている。
- 仲間づくり・絆づくりにもつながっており、学校での部活動と同様の教育的効果が得られている。
- ▲1クラブにつき1名以上指導者を配置しているが、クラブ指導者数が不足している。
- ▲教育的な専門的知識不足によって指導者が個に応じた指導ができていないことがある。
- ▲クラブ指導者・保護者・部活動顧問との連携が不足している。
- ▲部活動にない競技が実施できるようになるとよい。

## ～令和4年度 地域運動部活動の方向～

---

### 指導者の確保・育成研修会のさらなる充実

- 岐阜県スポーツ協会、羽島市スポーツ協会の加盟している協会・連盟や近隣大学、民間のスポーツクラブと連携して指導者を確保
- スポーツ指導者紹介制度の検討
- クラブ指導者に教育的配慮がある指導を行っていただくために、自閉症スペクトラム等の専門的知識を研修を実施

### 学校とクラブの連携

- 部活動顧問、クラブ指導者、保護者との連携システムを構築
- 保護者役員の引継ぎを円滑に行うため、スポーツクラブと中学校での合同説明会を実施（年1回程度）
- 生徒たちが戸惑うことなく種目を選択できるように、2月～3月に新一年生対象にクラブ活動体験会を実施

### クラブ間連携の強化

- 1クラブ単位でチームが編成できない、練習が成立しない場合は、クラブ間で合同チームを編成し、合同練習を実施したり、試合等に出場
- 在住地域のスポーツクラブに行きたい競技種目がない場合は、他地域のスポーツクラブに設置してある行いたい競技を選択可能

### クラブの基盤強化

- 月1回県や県スポーツ協会、有識者、他市のスポーツクラブ代表者を交え、市内スポーツクラブの今後の在り方検討会議を実施
- 年間3回スポーツクラブ運営者（関係者）、指導者、会員等とクラブの理想像や現在抱えている課題・問題点、今後のスポーツクラブの在り方を交流するために、意見交流会を実施